

第5学年と第6学年の目標

第5学年の目標

言語の大切さや豊かさに気付き、友達との関わりを生かした活動に積極的に取り組み、身近で基本的な表現に慣れ親しむ。

第6学年の目標

外国の文化や生活様式に興味をもち、国際理解に関わる交流を含んだ活動に積極的に取り組み、日常生活や学校生活に関する表現に慣れ親しむ。

Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう

時	指導内容			
	第1時	第2時	第3時	第4時
ねらい	「世界の『こんにちは』を知ろう」 世界には様々な挨拶があることを知ることを通して、日本語と外国語との挨拶の違いを知り、言葉の面白さに気付く。（気付き）	「みんなと挨拶をしてみよう」 挨拶のマナーを知り、挨拶をして、自分の名前を言うことを通して、外国語の挨拶に親しむ。（慣れ親しみ）	「名刺交換をしよう」 友達と挨拶をし、作成した名刺を交換することにより、相手と積極的にコミュニケーションを図る。（関心・意欲・態度）	
扱う表現	・ Hello. Good morning. ・ What's your name? ・ My name is Ken. ・ Nice to meet you.	・ Hello. My name is Ken. ・ Nice to meet you. ・ Nice to meet you, too.	・ What's your name? ・ My name is Ken.	
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 ALTに挨拶をして、名前を言う。 ★コミュニケーションの具体的な場面 外国の人と道で出会ったり、友達に紹介されたりしたとき、簡単な挨拶をし自分の名前を紹介している場面等。 3 チャンツを聞いたり、したりする。 4 "Hello."以外の外国語の挨拶で知っている挨拶を言う。 5 ゲームの説明を聞き、ペアになり、ゲームをする。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 ペアでチャンツする。 3 前回で学習した世界の挨拶についてペアになって答える。 4 グーグルアースを用いて、国の位置を確かめる。 5 言葉以外にも挨拶の違いがあることが分かる。 6 学習した表現を使い、友達と挨拶の仕方を練習する。 7 名刺の作り方を知り、自分の名刺を作る。 8 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CDに合わせて Hello Chant をする。 3 CDに合わせてテキストの四角に番号を入れる。 4 名刺交換の方法を知り、名刺の交換をする。 5 振り返りをする。	
評価規準	◎世界には様々な挨拶があることを知ることを通して、日本語と外国語との挨拶の違いを知り、言葉の面白さに気付いている。（行動観察）	◎挨拶のマナーを守り、挨拶をして、自分の名前を言うことを通して、外国語の挨拶に親しんでいる。（行動観察）	◎友達と挨拶をし、作成した名刺を交換することにより、相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。（行動観察）（英語ノート）	

Lesson 2 ジェスチャーをしよう

時	指導内容			
	第1時	第2時	第3時	第4時
ねらい	「感情を表す表現を知る」 様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをすることを通して、日本との違いに気付く。（気付き）	「進んでジェスチャーをしよう」 ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝えることにより、相手と積極的にコミュニケーションを図る。（関心・意欲・態度）	「話しかけよう」 ジェスチャーをつけて相手に挨拶をすることにより、積極的にコミュニケーションを図る。（関心・意欲・態度）	「話しかけよう」 感情や様子をジェスチャーを付けて表現し、伝えることにより、外国語の音声や表現に慣れ親しむ。（慣れ親しみ）
扱う表現	・ How are you? ・ I'm fine/happy/hungry/sleepy.	・ How are you? ・ I'm fine/happy/hungry/sleepy.	・ How are you? ・ I'm fine/happy/hungry/sleepy.	・ How are you? ・ I'm fine/happy/hungry/sleepy.
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 CD あるいは ALT の話を聞いて、英語ノートの4種類のどの絵のことか答える。 3 ゲームのやり方を知り、ジェスチャーや英語で答えたり、表現したりする。 4 ジェスチャーを付けて、Hello Song を歌う。 5 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 一人ひとりが指導者と挨拶し、自分の様子を答える。 3 ジェスチャーを付けて、Hello Song を歌う。 4 教室内を歩いて、友達を見つけてあいさつし合う。 5 指導者のジェスチャーを見て、何をしている様子かを日本語で答える。 6 指導者のスキットを見て、それぞれのジェスチャーが何を意味しているか、考え答える。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 ジェスチャーを付けて、Hello Song を歌う。 3 二重円になって向かい合い、目の前の友達と互いに挨拶をし合う。 4 英語ノートの絵を見て、二人の様子を答える。 5 CD を聞いて、どちらのペアの会話かを考えて答える。 6 列ごとの挨拶をする。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 ジェスチャーを付けて、Hello Song を歌う。 ★コミュニケーションの具体的な場面 子どもたちが学校に登校した後に、友達に挨拶をしている場面等。 3 列ごとに挨拶をする。 4 英語ノートを持ち、互いに挨拶し、自分の様子をジェスチャーを付けて相手に伝えるときともに、相手の名前と該当する欄に○をつける。 5 振り返りをする。
評価規準	◎様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをすることを通して、日本との違いに気付いている。（行動観察）	◎ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝えることにより、相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。（行動観察）	◎ジェスチャーを付けて相手に挨拶をすることにより、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。（行動観察）	◎感情や様子をジェスチャーを付けて表現し、伝えることにより、外国語の音声や表現に慣れ親しんでいる。（行動観察）

Lesson 3 数で遊ぼう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ね ら い	「いろいろな国の数の数え方」 1～10の数を言うことを通して日本と外国語の数え方の違いに気付く。(気付き)	「1～20の数」 様々な数え方や11～20の数の言い方を知ることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「数で遊ぼう」 友達に積極的に数を尋ねたり、1～20の数で答えたりすることを通して、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「ゲームをしよう」 数を扱ったゲームを、友達とやりとりしながら積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)
扱う 表現	・ How many? ・ one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten	・ Rock, scissors, paper. One, two, three. ・ How many? ・ eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty	・ How many?	・ How many?
活動 の 流れ	1 挨拶をする。 2 英語でじゃんけん・ゲームをする。 3 CD でじゃんけんのかけ声を聞いて、どこの国の言葉か推測して答える。 4 教室の中を歩き回って、出会った友達といろいろな国の言葉でじゃんけんをしよう。 5 ALT の数え方のジェスチャーを知り、自分たちの数え方とは違うことに気づく。 6 CD を聞いて、何語の数え方か推測する。 7 ジェスチャーを付けて Ten Steps を歌う。 8 振り返りをする	1 挨拶をする。 2 英語でじゃんけん・ゲームをする。 3 ジェスチャーを付けたり、様々な方法を加えたりして、Ten Steps を歌う。 4 英語ノートの中の図の中に、表にある3種類の形がいくつあるか数え、表に書きこむ。 5 1～10の代わりに11～20の数字に替えて、Twenty Steps を歌う。 6 指導者の発音する数字を順に線で結ぶ。 7 「数字ピラミッド・ゲーム」のやり方を聞き、ゲームをする。 8 振り返りをする。	1 挨拶をする。 ★コミュニケーションの具体的な場面 自分が持っている学習用具の数を、友達と互いに尋ねある場面等。 2 ALT とじゃんけん・ゲームをする。 3 ジェスチャーを付けたり、様々な方法を加えたりして、Ten Steps を歌う。 4 キー・ナンバー・ゲームをする。 5 グループでスネークス・アンド・ラダーズ・ゲームをする。 6 「数字ピラミッド・ゲーム」をする。 7 ハウメニー・ゲームを行う。 8 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 ALT とじゃんけん・ゲームをする。 3 ジェスチャーを付けたり、様々な方法を加えたりして、Ten Steps を歌う。 4 グループでスネークス・アンド・ラダーズ・ゲームをする。 5 英語ノートを使い、同じ画数の友達をさがす活動をする。 6 振り返りをする。
評価 規準	◎1～10までの数字を言うことを通して、日本語と外国語の数の数え方の違いに気付いている。(行動観察)	◎様々な数え方があることに興味を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。(行動観察・英語ノート点検)	◎友達に積極的に数を尋ねたり、1～20の数で答えようとするなど基本的な表現に慣れ親しんでいる。(行動観察・英語ノート点検)	◎積極的にゲームに参加し、友達とやりとりしながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察・英語ノート点検)

Lesson 4 自己紹介をしよう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ね ら い	「好きですか？」 相手の好きなものを聞くことにより、英語と外来語には違いがあることに気付く。(気付き)	「好き嫌いを尋ねてみよう」 自分の好き嫌いを答えて、相手に自分の気持ちを伝えようとすることで英語の表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「好き嫌いを尋ねてみよう」 インタビューの仕方が分かり、相手に好き嫌いを尋ねることで相手と積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)	「自己紹介をしよう」 自分の名前や好きなものを進んで自己紹介することを通して、自分のことを相手に伝える。(関心・意欲・態度)
扱う 表現	・ Do you like soccer? ・ Yes, I do./No, I don't. ・ I like baseball.	・ Do you like soccer? ・ Yes, I do./No, I don't. ・ I like baseball.	・ Do you like soccer? ・ Yes, I do./No, I don't. ・ I like baseball.	・ Hello. My name is Mai. ・ Yes, I do./No, I don't. ・ Thank you.
活動 の 流れ	1 挨拶をする。 2 指導者の好きなもの、嫌いなものを聞く。 3 英語ノートの絵カードを見ながら指導者の質問に答える。 4 キー・ワード・ゲームをする。 5 CD を聞いて、チャンツをする。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CD をかけ、絵カードを黒板に貼り、チャンツをする。 3 CD を聞いて、3人の好き嫌いに合わせ、表に○×を書きこむ。 4 指導者が見せるものを、指導者が好きかどうか予想する。その後、児童も同じ活動をする。 5 英語ノートのシートの「好きなもの」の欄に時分の好きなものの絵を描く。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CD を聞いてチャンツをする。 ★コミュニケーションの具体的な場面 友達の家に遊びに行き、好きな食べ物は、何かを尋ねようとしている場面。 3 インタビューの仕方を知る。 4 指導者の指示に従って、インタビュー結果を紹介する。 5 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CD を聞いてチャンツをする。 3 自己紹介のやり方を知り、練習をする。 4 自己紹介をする。 5 振り返りをする。
評価 規準	◎相手の好きな物や嫌いなものを聞くことにより、英語と外来語には違いがあることに気付いている。(行動観察・英語ノート)	◎自分の好き嫌いを答えて、相手とコミュニケーションを図りながら英語の表現に慣れ親しんでいる。(行動観察)	◎インタビューの仕方が分かり、相手に好き嫌いを尋ねることで、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察・英語ノート点検)	◎自分の名前や好きなものを進んで自己紹介することを通して、自分のことを相手に伝えようとしている。(発表観察)

Lesson 5 いろいろな国の衣装を知ろう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ね ら い	「いろいろな衣服」 世界には様々な衣服があることに気付く。 (気付き)	「欲しいものは何ですか」 好きな衣服を買う場面でのせりふをペアで練習することを通して、買い物の時に使う表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「買い物をしよう」 買い物ゲームを通して、自分の好みをはっきり言ったり、相手の要求に応えたりして、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)	「買ったものを発表しよう」 買ったものを発表することを通して、自分の好みをはっきりと相手に伝える。 (関心・意欲・態度)
扱う 表現	• Do you like blue? • Yes, I do./No, I don't. • I don't like blue.	• Do you have blue shoes? • Here you are.	• Do you have blue shoes? • Yes, I do./No, I don't. I don't like red. • Here you are. • Thank you.	• I have red cap. • I don't like blue.
活動 の 流れ	1 挨拶をする。 2 自分たちの着ている衣服や色についての質問に英語や日本語で答える。 3 指導者二人のやり方を聞いて二人が着たい衣服を知る。 4 英語ノートの男女に着せたい衣服を考える。 5 CD を聞いてチャンツをする。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 指導者の好きな衣服のデザインについて話を聞き、質問に答える。 4 英語ノートを開け、ノートのお店にある品物について質問に答える。 5 巻末絵カードに色を塗り自分の衣服絵カードを作成する。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 CD を聞き、買い物場面での言い方を確認し、せりふを考えて発表する。 ★コミュニケーションの具体的な場面 外国人が買い物に来て、自分が店員として接する場面等。 4 店員と客との 2 グループに分かれ、自分の欲しい衣服などを集め、発表用紙に貼り付ける。 5 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 CD を聞いて、麻衣が何を買ったかを聞き取り、英語ノートの衣服の絵と色とを線で結ぶ。 4 スピーチの仕方を確認し、各自で練習して発表する。 5 振り返りをする。
評価 規準	◎世界には様々な衣服があることに気付いている。(行動観察)	◎好きな衣服を買う場面でのせりふをペアで練習することを通して、買い物の時に使う表現に慣れ親しんでいる。(行動観察)	◎買い物ゲームを通して、自分の好みをはっきり言ったり、相手の要求に応えたりしようとして、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察)	◎買ったものを発表することを通して、自分の好みをはっきりと相手に伝えようとしている。(発表観察)

Lesson 6 外来語を知ろう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ね ら い	「身の回りにある外来語」 外来語とそのもととなる語では、音が違うことに気付く。(気付き)	「欲しいものは何ですか？」 レストランで注文することを通して、自分の欲しい物を相手に伝える表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「フルーツ・パフェを作ろう」 欲しいものを尋ねたり要求したりしながら、オリジナルのパフェ作りに積極的に取り組む。(関心・意欲・態度)	「フルーツ・パフェを作ろう」 自分で作ったフルーツ・パフェをクイズ形式で進んで紹介する。(関心・意欲・態度)
扱う 表現	• banana, cabbage, lemon, tomato, cake, TV, donut, milk, soccer ball, basketball, glove, koala, gorilla, kangaroo, calendar, piano, guitar	• What do you want? • Pudding, please.	• What do you want? • Strawberries, please. • Here you are. • Thank you. • You're welcome.	• What do you want? • Strawberries, oranges and apples, please.
活動 の 流れ	1 挨拶をする。 2 グループで外来語を出し合い、紙に書き出す。 3 CD あるいは ALT の発音を聞いて、英語ノートの絵を指さす。 4 ペアになり、キー・ワード・ゲームのやり方を知り、ゲームを行う。 5 フルーツパフェを作り役立つキーワード・ゲームを行う。(特産物を生かした活動を含む。) 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 ★コミュニケーションの具体的な場面 レストランでメニューを注文する場面。店員が"What do you want?"と尋ね、親子で自分の好きなフルーツを答える。 2 おはじきゲームをする。 3 音声を聞いて食べ物を線で結ぶ。 4 音声を聞いて、注文を○と□で囲む。 5 チャンツをする。 6 お金を支払う体験を行う。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 オリジナル・フルーツ・パフェを作る。 4 ペアで、互いのパフェを紹介し合う。 5 ペアになり、店員と客に分かれ、フルーツ・パフェを作る。 6 ペアでお店屋さんごっこを行う。ほしいものを要求するなどして、お金のやりとりな体験する。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 指導者のパフェを答える。 4 クイズを通して、作ったパフェを紹介する。 5 学級全体でお店屋さんごっこを行う。グループを 2 つに分けて、店員とお客になり、果物の購入体験をする。購入したフルーツでフルーツ・パフェを作る。 6 振り返りをする。
評価 規準	◎外来語とそのもととなる語では、音が違うことに気付いている。(行動観察)	◎レストランで注文することを通して、自分の欲しい物を相手に伝える表現に慣れ親しんでいる。(発表観察)	◎欲しいものを尋ねたり要求したりしながら、オリジナルのパフェ作りに積極的に取り組もうとしている。(行動観察)	◎自分で作ったフルーツ・パフェをクイズ形式で進んで紹介しようとしている。(行動観察)

Lesson 7 クイズ大会をしよう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ね ら い	「これは何かな」 英語と日本語との違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付く。(気付き)	「これは何ですか」 "What's this?"という質問を理解し、答えることを通して、外国語の音声や表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「クイズを作ろう」 "What's this?"を使って尋ねるクイズを作り、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)	「クイズ大会をしよう」 "What's this?"を使ったクイズを作り、進んで尋ねたり答えたりしながら、クイズ大会を楽しむ。(関心・意欲・態度)
扱う 表現	・ What's this? ・ It's a pencil.	・ What's this? ・ It's a book.	・ What's this? ・ It's a bird.	・ What's this? ・ It's a desk.
活動 の 流れ	1 挨拶をする。 2 部分絵カードを見て、それが何かを予想して答える。英語ノートの水族館拡大版を見て、その部分が何かを改めて答える。 3 漢字を見て、それが水族館のどの生き物かを考え、読み方を推測する。 4 答えをノートの表の中に書く。 5 チャンツをする。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 ブラック・ボックスの中に手を入れて、中に何が入っているのかを予想して答える。見ている児童は、前に出ている児童に、What's this ? という。前の児童は予想して答える。 4 シルエットを見て、それが何かを推測する。 5 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 シルエットを見て、それが何か答える。 4 英語ノートの枠の中に、あるもののシルエットあるいは、あるものの一部の絵を描く。 5 教室内で相手を見つけ、互いにクイズを出し合う。 6 グループで、どのクイズをするか相談する。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 ★コミュニケーションの具体的な場面 外国の友達とパーティーをしている時にクイズを出したり答えたりする場面等。 3 グループごとに、クイズを作る。 ・ブラック・ボックス・クイズ ・ピクチャー・クイズ ・シルエット・クイズ ・スリー・ヒント・クイズ 4 振り返りをする。
評価 規準	◎英語と日本語との違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付いている。(行動観察)	◎"What's this?"という質問を理解し、答えることを通して、外国語の音声や表現に慣れ親しんでいる。(行動観察)	◎"What's this?"を使って尋ねるクイズを作り、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察)	◎"What's this?"を使ったクイズを作り、進んで尋ねたり答えたりしながら、クイズ大会を楽しんでいる。(行動観察)

Lesson 8 時間割を作ろう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ね ら い	「世界の小学校の勉強」 外国の小学校でどのようなことを学習しているのか知るとともに、日本との違いについて気付く。(気付き)	「月曜日は何を勉強しますか」 教科名や曜日を扱ったゲームをしながら、友達と積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)	「何の先生ですか」 自分のオリジナル時間割を基本的な表現を用いて友達に伝えることを通して、外国語の表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「自分たちの時間割作り」 自分で作成した時間割をクイズ形式などで発表することを通して、友達と積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)
扱う 表現	・ I study Japanese. ・ What subject is this?	・ I study Japanese on Monday.	・ What do you study? ・ I study English. ・ I teach Japanese.	・ On Tuesday I study Japanese, English and P.E.
活動 の 流れ	1 挨拶をする。 ★コミュニケーションの具体的な場面 文通をしている外国の友達に、日本の勉強の様子を知らせている場面等。 2 各教科の英語での言い方を知る。 3 ALT の母国の小学校で学習している教科を知る。 4 英語ノートの日本以外の 2 つの国旗がどこの国のものか答える。 5 教科絵カードは、どの教科を表しているか推測し、ノートの口番号を書く。 6 CD または指導者が言う教科名を聞いて、その教科書を上げ、発音する。 7 指導者のジェスチャーを見て、ジェスチャーが表している教科名を答える。 8 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 指導者の言う教科を聞いて、それが何曜日の予定かを答える。 3 一緒に歌う。 4 ビンゴ・ゲームをする。 5 インフォメーション・ギャップのゲームを行う。 6 CD を聞いて、聞き取った教科の巻末絵カードをシートに置く。 7 聞き取った教科名を発表し、答え合わせをする。 8 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 一緒に歌う。 3 指導者の説明を聞きながら、英語ノートの時間割表の空いているところに該当する巻末絵カードを置いていく。 4 英語ノートの 3 人の教員の様子から、それぞれどの教科を教えているかを推測する。 5 CD を聞いて、3 人の教師の担当教科を聞き取り、教科名と教師とを線で結ぶ。 6 曜日時間割表を作成し、ペアで時間割表を紹介し合う。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 一緒にする。 3 各グループで相談して、自分たちの好きな曜日に好きな科目を学習する時間割を作成する。 4 各グループで、クイズ形式で自分たちの時間割を発表する。なぜ、そのような時間割にしたか理由も言う。 5 振り返りをする。
評価 規準	◎外国の小学校でどのようなことを学習しているのか知るとともに、教科の言い方の違いに気付いている。(行動観察)	◎教科名や曜日を扱ったゲームをするを通して、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察)	◎自分のオリジナル時間割を基本的な表現を用いて、友達に伝えることを通して、外国語の表現に慣れ親しんでいる。(オリジナル曜日時間割 行動観察)	◎自分で作成した時間割を、クイズ形式などで発表することを通して、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察)

Lesson 9 ランチ・メニューを作ろう

時	指導内容			
	第1時	第2時	第3時	第4時
ねらい	「わたしたちの朝食と世界の朝食」 日本と外国とでは、朝食に主に食べるものが違うことを知ることを通して日本と外国文化の違いに気付く。(気付き)	「私の欲しい料理」 ゲームやチャンツを行いながら、食べ物や料理名などの表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「ランチ作り」 ランチメニューを作ることを通して、自分の要求を伝えたり、相手の要求に応えたりして、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)	「オリジナル・ランチ・セット作り」 グループで協力して、オリジナル・ランチセットを作りながら、自分たちのメニューを進んで紹介する。(関心・意欲・態度)
扱う表現	・ I eat fruits and cereal in the morning.	・ What would you like? ・ I'd like juice.	・ What would you like? ・ I'd like juice.	・ What would you like? ・ I'd like juice.
活動の流れ	1 挨拶をする。 ★コミュニケーションの具体的な場面 外国に旅行をしたとき、ホテルで出てきた朝食を見て、日本と外国とのメニューの違いを知り、他の国のメニューをもっと知りたくなった場面等。 2 指導者の話を聞いて、朝食に何を食べてきたかを知り、その後、互いに何を食べてきたか紹介し合う。 3 朝食カードを見て、それがどこの国の朝食かを予想する。 4 CD を聞いて、どんな食べ物があるかを知る。 5 自分たちの朝食との違いを英語ノートに記入する。 6 質問に答える。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 ペアになり、キー・ワード・ゲームをする。 3 ランチの作り方を知る。 4 チャンツを理解し、一緒にチャンツをする。 5 自分が欲しい食べ物や料理を言う。 6 ほしい料理を要求したり、渡したりしながら、お金のやりとりをする。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 巻末食べ物絵カードを切り抜き、英語ノートの Today's Special Menu にカードを並べ、各自ビンゴ・シートを作成する。 4 指導者の発音を聞いて、ビンゴ・ゲームをする。 5 ペアになり、店員と客に分かれる。スペシャル・ランチを作るために、ほしいものを要求したり渡したりする。お金のやりとりをしながら、お店屋さんごっこをする。 6 できた自分のランチを紹介する。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツをする。 3 グループでオリジナル・ランチ・セットを作成する。 4 グループでオリジナル・ランチ・セットを紹介する。 5 どのグループのセットが一番食べたいかを決める。 6 学級全体でお店屋さんごっこをする。グループごとに店員とお客に分かれてお金のやりとりをしながらオリジナルのランチメニューを作る。 7 振り返りをする。
評価規準	◎日本と外国とでは、朝食に主に食べるものが違うことを知ることを通して、日本と外国の文化の違いに気付いている。(行動観察)	◎ゲームやチャンツに取り組みながら、基本的な表現に慣れ親しんでいる。(行動観察)	◎ランチメニューを作ることを通して、自分の要求を伝えたり、相手の要求に応えたりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察)	◎グループで協力して、オリジナル・ランチセットを作りながら、自分たちのメニューを進んで紹介ようとしている。(行動観察)

第5学年と第6学年の目標

第5学年の目標

言語の大切さや豊かさに気付き、友達との関わりを生かした活動に積極的に取り組み、身近で基本的な表現に慣れ親しむ。

第6学年の目標

外国の文化や生活様式に興味をもち、国際理解に関わる交流を含んだ活動に積極的に取り組み、日常生活や学校生活に関する表現に慣れ親しむ。

Lesson 1 アルファベットで遊ぼう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ねらい	「アルファベットを探そう」アルファベットの大文字の読み方を知ることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)	「聞こえたアルファベットはどれかな」アルファベットの大文字の読み方と大文字を認識することを通して、積極的にコミュニケーションを図る。 (関心・意欲・態度)	「アルファベットを探そう」アルファベットの大文字とその読み方とを一致させることを通して、外国語の言葉のおもしろさに気付く。 (気付き)	
扱う表現	・ A から Z のアルファベットの大文字 ・ That's right.	・ Let's play Alphabet karuta. ・ Listen to the CD. ・ Make a straight line.	・ What letter is this? ・ Look around the classroom. ・ We can see many letters around us.	
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 大文字アルファベット・カードを見て、絵の中からその文字を見つける。 ★コミュニケーションの具体的な場面 探したアルファベットが具体的な生活の場のどこにあるか確認する。 3 A から Z まで全てのアルファベットを見つける。 4 指導者の言うアルファベットの大文字の読み方を聞いて、そのアルファベットを見つけ、その文字を言う。 5 ペアになり、英語ノート p.4, 5 を開き、アルファベットを見つけるゲームを行う。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 説明を聞いて、アルファベット・カルタをする。 3 CD を聞いて、英語ノートの線つなぎのゲームをする。 4 アルファベットを用いてミッション・ゲームを行う。 5 答えを確認し合わせる。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 The Alphabet Song を歌う。 3 英語ノート of アルファベット・パズルを行う。 4 アルファベットの大文字をならべかえて、人物の名前を完成させる。 5 教室を見回りアルファベットの大文字や言葉などを探し、ノート p.9 に書き写す。 6 発表する。 7 振り返りをする。	
評価規準	◎アルファベットの大文字の読み方を知ることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察)	◎アルファベットの大文字の読み方と大文字を認識することを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 (行動観察)	◎アルファベットの大文字とその読み方とを一致させることを通して、外国語の言葉のおもしろさに気付いている。 (行動観察・英語ノート点検)	

Lesson 2 いろいろな文字があることを知ろう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ねらい	「世界の言葉と文字」アルファベットには小文字もあることを知ったり、21 以上の数を言ったりすることを通して、言葉のおもしろさに気付く。 (気付き)	「この数は何ですか」アルファベットの小文字を認識することを通して、言葉のおもしろさや豊かさなどに気付く。 (気付き)	「アルファベットを探して発表しよう」アルファベットの小文字とその読み方とを一致させることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)	「アルファベットを探して発表しよう」アルファベットの大文字と小文字とを書き写し紹介し合うことを通して、積極的にコミュニケーションを図る。 (関心・意欲・態度)
扱う表現	・ a ～ z のアルファベットの小文字 ・ 21 ～ 100 の数 ・ What number is this?	・ a ～ z のアルファベットの小文字 ・ 21 ～ 100 の数及び 192 ・ What is this number?	・ There are capital letters and small letters. ・ Match the capital letter and the small letter together.	・ A ～ Z, a ～ z のアルファベットの大文字 ・ What's this? ・ Can you guess?
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 英語ノート p.11 を見て、どのような動物がそれぞれどれだけの数を答える。 3 動物のそばに書かれている文字を見て、それはどの言語かを予想して答える。 4 アルファベットの大文字には、大文字と小文字があることに気付く。 5 数字カードを見ながら歌う。 6 指示されたものの数を予想した後、実際に数える。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 数字カードを見ながら歌う。 3 英語ノート p.12 を見て、指導者が言う数字のブロックに色を塗る。 4 指導者のヒントを頼りに、192, 54 の数が表すものを考え発表する。 5 なぜ外国語の中でも英語を取り上げて学習するのかを考える。 6 小文字アルファベット・カードを見ながら、それがどの大文字に対応するかを予想して答える。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 数字カードやアルファベットカードを見ながら歌う。 ★コミュニケーションの具体的な場面 児童の身の回りにあるアルファベット表示を提示する。 3 大文字と小文字とを線で結ぶ。 4 友達同士大文字と小文字のカード合わせをし、全体で確認をする。 5 身の回りにあるアルファベットの表記を見て、それが何を表すか答える。 6 町の絵からアルファベット表示を探し、ノートの表に書き写す。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 数字カードやアルファベットカードを見ながら歌う。 3 英語ノート p.14 や身の回りから見つけたアルファベットを表示し、紹介し合う。 4 ヒントを聞いて、それがどのようなアルファベット表示かをグループごとまたは個人で答える。 5 グループごとにクラスみんなに、アルファベット表示をクイズ形式で出題する。 6 振り返りをする。
評価規準	◎アルファベットには小文字もあることを知ったり、21 以上の数を言ったりすることを通して、言葉のおもしろさに気付いている。 (行動観察)	◎アルファベットの小文字を認識することを通して、言葉のおもしろさや豊かさなどに気付いている。 (行動観察・英語ノート点検)	◎アルファベットの小文字とその読み方とを一致させることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。 (英語ノート点検)	◎アルファベットの大文字と小文字とを書き写し紹介し合うことを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 (行動観察・英語ノート・作品点検)

N O . 2 外国語活動年間指導計画 第 6 学年（ 3 5 時間）

Lesson 3 友達の誕生日を知ろう Lesson 4 できることを紹介をしよう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ねらい	「自分の誕生月の言い方を知ろう」 日本や外国の季節や行事の特徴を知ることを通して、日本と外国の文化の違いに気付く。 (気付き)	「誕生月を言おう」 チャンツや自分の誕生月を言うことを通して、月日の表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「同じ誕生月の友達は何人いますか」 自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)	「同じ誕生月の友達は何人いますか」 自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)
扱う表現	・ 1 月から 12 月までの月の名前 ・ In April, we have cherry blossoms and the entrance ceremony. ・ Spring is a beautiful season.	・ 日にちで使う序数 ・ 祖父母、父母、兄弟姉妹を表す英語 ・ When is your birthday?	・ My birthday is ～. ・ Everyone, ask the students,"When is your birthday?" ・ Say the month on your card.	・ When is your birthday? ・ My birthday is ～. ・ What letter comes here?
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 指導者の誕生月の行事や特徴を知ったり、答えたりする。 3 自分の誕生月を答える。 4 英語ノート p.16 にある行事などの絵を見て、それが何月かを答える。 5 CD を聞いて、英語ノートに国名と月の数字とを書き入れる。 6 キー・ワード・ゲームをする。 7 CD を聞いて、指導者と一緒にチャンツを言う。 8 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 前回とは違うペアで、キー・ワード・ゲームをする。 3 カレンダーの（ ）に自分の誕生月を記入し、誕生日を○で囲む。 4 CD を聞いて、自分の誕生日の言い方を知り、日付の言い方で気付いたことを発表する。 5 自分の誕生月（日）を答える。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CD を聞いて、ともにチャンツを言う。 3 キーワード・ゲームをする。 4 英語ノートカレンダーの番号を入れる。 ★コミュニケーションの具体的な場面 友達と自己紹介をするときに、誕生日を尋ね合う場面等。 5 友達に誕生日を尋ね、自分と同じ誕生月の友達を何人見つけたかを発表する。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 月絵カードを見ながら、チャンツを言う。 3 英語ノート p.20 の月の口に抜けた頭文字を p.21 を参考にして書く。 4 活動のやり方を知り、英語ノート p.21 の表に尋ねた友達の名前と誕生日、各月の誕生者の合計人数を記入する。 5 振り返りをする。
評価規準	◎日本や外国の季節や行事の特徴を知ることを通して、日本と外国の文化の違いに気付いている。 (行動観察)	◎チャンツや自分の誕生月を言うことを通して、月日の表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察)	◎自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 (行動観察・英語ノート点検)	◎自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 (行動観察・英語ノート点検)

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ねらい	「できるか・できないか考えながら聞いてみよう」 相手の話を聞き、何ができ、何ができないかに気付く。 (気付き)	「あなたはできますか」 チャンツや尋ね合う活動を通して、できる、できないを表す表現に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)	「インタビューをしよう」 友達とどのようなことができるのかを尋ねたり、答えたりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図る。 (関心・意欲・態度)	「私のできること、できないことを言って、自己紹介をしよう」 自分ができることを進んで発表したり、友達の発表を聞いたりする。 (関心・意欲・態度)
扱う表現	・ Can you swim? ・ Yes, I can./No, I can't. ・ I can swim.	・ Can you ～? ・ Yes, I can./No, I can't. ・ Ask each other.	・ Can you ～? ・ Yes, I can./No, I can't. ・ Introduce what you can and can't do.	・ Let's start the "Who am I ?" quiz. ・ Introduce what you can and can't do. ・ Then one student from each group performs in front of the class.
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 CD を聞いて、どのような動物のことかを考え、（ ）に番号を書く。 3 指導者ができること、できないことを聞く。 4 動作絵カードを見ながら、尋ねられたことができるかどうかを答える。 5 CD や指導者のセリフを聞いて、英語ノート p.25 の吹き出しの中の絵を○で囲む。 6 指導者のやりとりを聞いて、チャンツの内容を理解して行う。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CD に合わせてチャンツを言う。 ★コミュニケーションの具体的な場面 友達と自分のできることやできないことを紹介し合う場面等。 3 CD を聞いて、英語ノートの絵を指さす。 4 指導者や友達のジェスチャーを見て、どの動作かを答える。 5 代表の児童がジェスチャーをし、他の児童は、代表の児童に質問する。 6 ペアでできるかどうかを尋ね合う。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CD に合わせてチャンツを言う。 3 指導者からの質問に答える。 4 英語ノート p.27 の 9 つの絵のことができるかを友達に尋ね、できると答えた友達の名前を（ ）の中に書く。 5 英語ノート p.28 の表に自分ができること、できないことの絵を描く。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 CD に合わせてチャンツを言う。 3 英語ノート p.26 をもとに Who am I?クイズを行う。 4 英語ノート p.28 をもとに、自分ができること、できないことをグループ内で紹介する。 5 グループの代表が、みんなの前で自分ができること、できないことを紹介する。 6 振り返りをする。
評価規準	◎相手の話を聞き、何ができ、何ができないかに気付いている。 (行動観察・英語ノート点検)	◎チャンツや尋ね合う活動を通して、できる、できないを表す表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察)	◎友達とどのようなことができるのかを尋ねたり、答えたりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 (行動観察)	◎自分ができることを進んで発表しようとしていたり、友達の発表を聞こうとしていたりしている。 (行動観察)

Lesson 5 道案内をしよう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ねらい	「建物やお店の言い方を知ろう」 町中にある様々な建物などの言い方を学ぶ ことを通して、外国語に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)	「どこに着きましたか」 方向や動きを指示する表現を知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える良さに気付く。 (気付き)	「オリジナル・タウンを作って紹介しよう」 方向や動作を指示する英語を使って、相手に目的地を伝える。 (関心・意欲・態度)	「オリジナル・タウンを作って紹介しよう」 ジェスチャーを付けて案内したり、案内に従って目的地に行ったりする。 (関心・意欲・態度)
扱う表現	・ What's this? ・ school, police box, bank, bus stop, flower shop, restaurant, hospital, post office 等	・ Where is ～? ・ Stop. ・ Turn right./left. ・ Go straight.	・ Where is ～? ・ Stop. ・ Turn right./left. ・ Thank you. ・ Go straight.	・ Where is ～? ・ Stop. ・ Turn right./left. ・ Thank you. ・ Go straight.
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 絵カードの一部を見て、それが何かを答える。CD を聞いて、言い方を練習する。 3 英語ノート p.30, 31 のゲームをする。 4 ペアで指差しゲームをする。(①、②) 5 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 サイモン・セズ・ゲームをする。 3 CD を聞いて、それぞれの人物がどこに行くのかを聞き取り、英語ノート p.31 の表の「到着場所」に記入する。 4 チャンツを言う。 5 英語ノート p.32, 33 を開け、CD の指示に従って地図上で進み、空き地に巻末絵カードを置く。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 ペアになり、相手の道案内を聞いて、相手と同じ町を英語ノート p.32,33 の地図上に作る。役割を交代する。確認する。 ★コミュニケーションの具体的な場面 町で外国人に道を聞かれた場面等。 4 グループで道案内をする。 5 デモンストレーションを参考にしながらグループで道案内をする。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 ペアになり、相手の道案内を聞いて、相手と同じ町を英語ノート p.32, 33 の地図上に作る。役割を交代する。確認する。 4 ペアで道案内をする。 5 ペアになり、順番に相手を道案内する。 6 振り返りをする。
評価規準	◎町中にある様々な建物などの言い方を学ぶことを通して、外国語に慣れ親しんでいる。 (行動観察)	◎方向や動きを指示する表現を知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える良さに気付いている。 (行動観察、英語ノート点検)	◎方向や動作を指示する英語を使って、相手に目的地を伝えようとしている。 (行動観察)	◎ジェスチャーを付けて案内しようとしたり、案内に従って目的地に行こうとしたりしている。 (行動観察)

Lesson 6 行ってみたい国を紹介しよう

時	指導内容			
	第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時
ねらい	「世界には様々な英語がある」 世界には様々な英語があることに気付く。 (気付き)	「どの国に行きたいですか」 行きたい国やその理由についての話を聞いたり、質問に答えたりして、基本的な表現に慣れ親しむ。(慣れ親しみ)	「行きたい国を尋ねてみよう」 行きたい国やその理由に関するスピーチを聞いて内容を理解し、自分の行きたい国を紹介することを通して、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)	「自分が行きたい国とその理由とを発表しよう」 行きたい国をその理由とともに発表したり、相手の行きたい国やその理由を聞いて理解したりするすることを通して、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)
扱う表現	・ What country is this? ・ I want to go to ～. ・ 色、形を表す語。	・ I want to go to ～. ・ I like ～. ・ I want to see ～.	・ I want to ～. ・ Where do they want to go? Why?	・ Where do you want to go? ・ Draw the flag. ・ Write the name of the country.
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 4 人の様子から誰がどこの国出身かを予想して答える。 3 CD で 4 人の自己紹介を聞き、聞き取れたことを表に書く。 4 4 人の話し方、発音などについて気付いたことを発表する。 5 英語ノート p.37 を開け、CD を聞いて四角に番号を、() に国名を記入する。 6 チャンツを言う。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 巻末絵カードを使って、単語を発音しながら確認する。 4 CD を聞いて、子どもの顔と、国旗、理由の絵とを線で結ぶ。 5 指導者の行きたい国、その理由についての説明を聞く。 6 質問に答える。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 CD を聞いて、分かったことを英語ノート p.40 の吹き出しに記入する。 ★コミュニケーションの具体的な場面 世界地図を見て、自分の行きたい国とその理由を発表しあう場面等。 4 指導者のスピーチを聞く。 5 指導者の絵や、英語ノート p.39 の絵を参考に、【Activity 1】の四角の枠に自分で絵などを書き込む。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 指導者のスピーチを聞き、スピーチの仕方を知る。 4 前時に描いた【Activity 1】の絵をもとに、自分の行きたい国とその理由についてスピーチをする練習をする。 5 スピーチをする。友達の発表を聞いて、自分と同じ国に行きたい友達が何人いるかを英語ノート p.41 の四角の枠に記入する。 6 振り返りをする。
評価規準	◎世界には様々な英語があることに気付いている。(発表観察)	◎行きたい国やその理由についての話を聞いたり、質問に答えたりして、基本的な表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察・英語ノート点検)	◎行きたい国やその理由に関するスピーチを聞いて内容を理解し、自分の行きたい国を進んで紹介することを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 (行動観察・英語ノート点検)	◎行きたい国をその理由とともに発表し、相手の行きたい国や理由を聞いて理解したりすることを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 (行動観察・英語ノート点検)

N O . 4 外国語活動年間指導計画 第6学年（35時間）

Lesson 7 自分の一日を紹介しよう Lesson 8 オリジナルの劇をつくろう

時	指導内容			
	第1時	第2時	第3時	第4時
ねらい	「他の国は今何時ですか」 世界には時差があることを知り、英語での時刻の言い方を聞いて、それが何時か分かり、外国語の言葉のおもしろさに気付く。 (気付き)	「何時に起きますか」 一日の生活についての表現を知ることや、ジェスチャーでの表し方を知ることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)	「自分の一日を紹介しよう」 時刻の表し方に気をつけ、自分の生活表を作成することを通して、積極的に外国語活動を楽しむ。(関心・意欲・態度)	「自分の一日を紹介しよう」 生活表をもとに自分の生活を紹介し合うことを通して、積極的にコミュニケーションを図る。(関心・意欲・態度)
扱う表現	・ one ～ sixty ・ What time is it? ・ It's 8:00.	・ What time do you get up? ・ I get up at 6:00.	・ What time do you ～? ・ Make a record of your daily routine.	・ What time do you ～? ・ In groups, say your daily routine.
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 何時に学校に向かって家を出るかを答える。世界には時差があることを知る。 3 世界の各都市の時刻によって、そこに住む子どもたちが何をしているかを CD から聞き取り、時計盤に短針を書く。 ★コミュニケーションの具体的な場面 世界地図を見て、子どもたちが何時にどんなことをして一日をすごしているか話し合う場面等。 4 1～60の数を1人ずつ順に言っていく。 5 時刻を聞き長針と短針とを書き込む。 6 時刻を尋ねる。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 指導者の一日の生活を聞いて、分かったことを発表する。 3 質問に答える。 4 5個のおはじきを各自がもらい、英語ノート p.47 のシートにある 16 種類の絵から 5 種類を選んで、おはじきを置く。 5 指導者や友達がするジェスチャーを見て、それが何をしているところかを推測して答える。 6 チャンツを聞き言う。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 指導者の一日の生活を聞く。 3 質問に答えながら、英語ノート p.46 の動作の絵と時刻とを線で結ぶ。 4 チャンツを言う。 5 生活表を作成する。英語ノート p.48 の絵と時刻とを、自分の生活に合わせて線で結ぶ。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 指導者のスピーチを聞く。 4 生活表を見せながら、グループの中で自分の一日について紹介をする。 5 友達の発表を聞いて、分かったことを英語ノート p.49 の吹き出しに書く。分かったことを発表し、コメントを言う。 6 振り返りをする。
評価規準	◎世界には時差があることを知り、英語での時刻の言い方を聞いて、それが何時か分かり、外国語の言葉のおもしろさに気付いている。(行動観察・英語ノート点検)	◎一日の生活についての表現を知ることや、ジェスチャーでの表し方を知ることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。(行動観察)	◎時刻の表し方に気をつけ、自分の生活表を作成することを通して、積極的に外国語活動を楽しんでいる。(行動観察・英語ノート点検)	◎生活表をもとに、自分の生活を進んで紹介し合うことを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察・英語ノート点検)

時	指導内容			
	第1時	第2時	第3時	第4時
ねらい	「どのような話でしょうか」 世界には様々な物語があり、日本語になっているものの中には外国から来た物語があることに気付く。 (気付き)	「オリジナル『大きなかぶ』の話を考えよう」 物語の面白さを理解し、グループで登場人物やせりふを考え、オリジナルの物語を作ることを通して友達と積極的に関わる。 (関心・意欲・態度)	「オリジナル『大きなかぶ』の物語を発表しよう」 グループでオリジナル物語の作成やその劇の練習を通して、様々な表現の仕方に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)	「オリジナル『大きなかぶ』の物語を発表しよう」 グループでオリジナルの物語を発表したり、他のグループの物語を聞くことを通して、内容の理解を深め、外国語に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)
扱う表現	・ grandpa, grandma, girl, dog, cat, mouse ・ Please help me.	・ Please help me. ・ Please help us.	・ Please ～. ・ What's the matter? ・ Yo-heave-ho! ・ Come here.	・ Please ～. ・ Good job! ・ Yo-heave-ho! ・ Excellent! ・ Very good.
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 知っている物語を発表する。 3 CD で物語を聞く。 4 場面ごとに聞こえたセリフを答える。 5 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 登場人物の登場順に気を付けながら、物語を聞く。カードを登場順に並べ発表する。 3 チャンツを言う。 4 CD を聞いて、英語ノート p.52 の 6 種類の場面絵の吹き出しに番号を記入する。 ★コミュニケーションの具体的な場面 発表会に向けて、オリジナル劇を作る場面等。 5 グループで登場人物を決める。 6 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 グループに分かれて、相談をしたり、紙芝居や小道具を作ったり、劇の練習をしたりする。 4 英語ノート p.54 の吹き出しに考えたセリフを日本語で書く。 5 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 グループに分かれて発表の練習をする。 4 グループごとに発表する。 5 他のグループの発表を聞いて、どのような人物や動物などが出てきたかを英語ノート p.55 の表に書く。 6 振り返りをする。
評価規準	◎世界には様々な物語があり、日本語になっているものの中には外国から来た物語があることに気付いている。(行動観察)	◎物語の面白さを理解し、グループで登場人物やせりふを考え、オリジナルの物語を作ることを通して友達と積極的に関わりようとしている。(行動観察)	◎グループでオリジナル物語の作成やその劇の練習を通して、様々な表現の仕方に慣れ親しんでいる。(行動観察・英語ノート点検)	◎グループでオリジナルの物語を発表したり、他のグループの発表を聞くことを通して、内容の理解を深め、外国語に慣れ親しんでいる。(行動観察・英語ノート点検)

Lesson 9 将来の夢を紹介しよう

時	指導内容			
	第1時	第2時	第3時	第4時
ねらい	「様々な職業の言い方を知ろう」 様々な職業の英語での言い方を聞くことを通して、職業についての英語での表現に気付く。 (気付き)	「あなたのつきたい職業は何ですか」 世界には自分たちと同じように将来に夢を描いている子どもたちがいることを知るとともに、将来つきたい職業を外国語で表現する。 (関心・意欲・態度)	「私の夢を聞いてください」 将来つきたい職業について、友達に尋ねたり答えたりすることを通して、外国語に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)	「私の夢を聞いてください」 スピーチ・メモを取り、理由を含めて自分の夢をみんなに紹介することを通して外国語に慣れ親しむ。 (慣れ親しみ)
扱う表現	・ teacher, doctor, racing driver, cook, fire fighter singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player ・ I want to be ～.	・ What do you want to be? ・ I want to be a teacher.	・ What do you want to be? ・ I want to be a teacher. ・ I like ～.	・ What do you want to be? ・ I want to be a teacher. ・ I want to ～.
活動の流れ	1 挨拶をする。 2 人物の様子と ALT のヒントから、それぞれの人が何を職業としているかを推測する。 3 CD を聞き、英語ノート p.56 の () に番号を記入する。 4 様々な職業の言い方を知る。 5 ビンゴ・ゲーム・シートの作り方を知る。 6 ビンゴ・ゲームをする。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 ビンゴ・ゲーム・シートを作りゲームをする。 3 CD を聞いて、分かったことをそれぞれの吹き出しに書く。 4 英語ノートの3人の子どもたちの将来の夢を確認する。 5 自分の夢について答える。 6 チャンツを言う。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 3 ゲームのやり方を知り、列ごとにゲームをする。 4 インタビューの仕方を知り、自分と同じ夢の友達を探す。 5 自分と同じ夢の友達の数を発表する。 6 スピーチ・メモの作成の仕方を理解する。 7 振り返りをする。	1 挨拶をする。 2 チャンツを言う。 ★コミュニケーションの具体的な場面 10年後の自分について考えながら、友達と発表しあう場面等。 3 スピーチのやり方を知る。 4 スピーチ・メモをもとにスピーチをする。 5 友達のスピーチを聞いて、分かったことを英語ノート p.61 の表に書く。 6 振り返りをする。
評価規準	◎様々な職業の英語での言い方を聞くことを通して、職業についての英語での表現に気付いている。 (行動観察)	◎世界には自分たちと同じように将来に夢を描いている子どもたちがいることを知るとともに、将来つきたい職業を外国語で表現しようとしている。 (英語ノート点検)	◎将来つきたい職業について、友達に尋ねたり答えたりすることを通して、外国語に慣れ親しんでいる。 (行動観察・英語ノート点検)	◎スピーチ・メモを取り、理由を含めて自分の夢をみんなに紹介することを通して外国語に慣れ親しんでいる。 (行動観察・英語ノート点検)